

■橋本多佳子 俳人。豪邸"小倉サロン"を主宰して杉田久女と出会い、のち山口誓子に師事、女性の寂寥詠って大成。
はしもとたかこ
Bushidou・・1899= 東京市本郷区竜岡町で、山名雄司・津留の長女に生まれる。本名多満。祖父は山田流箏曲家元山名清風。

日露戦争終・1905= 6歳：

アヲチ 創刊・1908= 9歳：

明治天皇没・1912=13歳： 福井小学校、湯島小学校を経て、
菊坂の女子美術学校日本画科に入学するが、病弱のため中退。
のち萩岡松韻、山田せつについて箏を学ぶが、肋膜炎を病み中断した。

ロシア革命・1917=18歳： 大阪船場の商家橋本科左衛門の次男豊次郎と結婚、
4女を生む。
べ 駒江条約・1919=20歳： 小倉市に夫が設計した豪邸櫓山荘に移り、しばしば文化人を招き小倉サロンと呼ばれる。

原敬首相暗殺1921=22歳：
水平社結成・1922=23歳： 同荘での俳句会で、高浜虚子・杉田久女と出会い、
その後、久女の指導のもとに句作をはじめ、{ホトトギス}に投稿。

円本時代始・1926=27歳：

世界恐慌・・1929=30歳：大阪へ移居、山口誓子と出会い、

満州事変・・1931=32歳：

芥川直木賞始1935=36歳：*誓子とともに{ホトトギス}を離脱、水原秋桜子主宰の{馬酔木}同人となる。

日中戦争始・1937=38歳：夫が死去。多佳子は"夫うつむ真白き菊をちぎりたる"の句をたむける。

日米開戦・・1941=42歳：*第1句集「海燕」刊行。

年金+総武装 1944=45歳： 戦時中奈良に疎開し、没年まで住む。
敗戦・・・・1945=46歳：
新憲法公布・1946=47歳： 西東三鬼・平畑静塔・榎本冬一郎らと、奈良俳句会をはじめる。
新憲法施行・1947=48歳： 第2句集「信濃」，

この間、{天浪}に参加、

独立回復・・1951=52歳：
メーデー事件・1952=53歳：*第3句集で代表句集といわれる「紅糸」刊行、誓子の構成手法に学びつつ女性としての内面の寂寥を主情的に
うたいあげた。{七曜}を創刊し主宰する。

テレビ放送始・1953=54歳：

なべ底不況・1957=58歳：第4句集「海彦」刊行。

安保闘争・・1960=61歳：

全国総合計画1962=63歳：
TV宇宙中継始1963=64歳： 没した。
翌々年第5句集「命終」が、のち「橋本多佳子全句集」が刊行された。

平凡社百科事典、「日本の女性」，